

**2017 年度日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医
単位取得自己申請の手引き**

専門医・認定臨床医の資格を既にお持ちの方は、自動登録分以外の単位申請（単位取得自己申請）を受付いたします。

下記をご参照の上、お手元の各種証明内容を添えて、郵送にて申請してください。

<p>提出期限締切：2017 年 12 月 15 日</p> <p>送 り 先：〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-18-12</p> <p style="text-align: right;">内神田東誠ビル 2 階</p> <p style="text-align: center;">日本リハビリテーション医学会 単位申請 係</p> <p>対 象：専門医・認定臨床医の資格をお持ちの方</p>
--

- 下表の 7 項目は、開催者側から学会へ提出された単位カード（または出席者リスト）をもとに自動登録していますので、自己申請は不要です。
- 現在の単位状況は、学会ホームページより会員用 Web システムにログインして確認できます。
- 単位の証明は記載された内容のものをお送りください。それ以外の場合は認められないことがあります。
- 2017 年度以前の未登録の自己申請分を含めて申請する場合は、ご自身の認定期間及び本医学会の認定単位であることを再度ご確認ください。

自動登録の 7 項目 = 自己申請不要

大項目	項 目	単 位	
(1) 学会参加 の単位	a) 本医学会学術集会	20	
	b) 本医学会地方会学術集会	10	
	d) 本医学会専門医会学術集会	20	
(2) 教育研修 講演等受講 の単位	a) 「年次学術集会」で行われる教育研修講演	10	
	b) 「地方会」で行われる教育研修講演	10	
	c) 本医学会が主催または後援する研修会	20	
	病態別実践リハビリテーション医学研修会		臨床筋電図・電気診断学入門講習会
	脊損尿路管理研修会		小児のリハビリテーション実習研修会
	福祉・地域リハビリテーション実習研修会		「動作解析と運動学実習」実習研修会
義手・義足適合判定医師研修会アドバンス・コース	職業リハビリテーション研修会	10	
嚥下障害実習研修会	リハビリテーションに活かす医療コーチング研修会		
	d) 「専門医会」で行われる教育研修講演	10	

**2017年度 日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医
単位取得自己申請用紙**

会員番号	専門医番号	認定臨床医番号	フリガナ 氏 名

申請の手引きについては、前ページをご参照ください

大項目	項 目	認定 (単位)	証明内容	合計 (単位)
(1) 学会参加の 単位	c) 「国際学会」(2017年度は以下の1学会) ※本医学会が認める国際学会 ISPRM (アルゼンチン) (事務局コード130)	10		
	f) 「関連学会」(2017年度は以下の22学会) ※リハビリテーション医学に関係のある全国規模の学会学術集会 日本整形外科学会、日本リウマチ学会、 日本神経学会、日本義肢装具学会、 日本臨床神経生理学会、日本脊髄障害医学会、 日本老年医学会、日本脳性麻痺研究会、 日本脳卒中学会、日本脳神経外科学会、 日本末梢神経学会、日本高次脳機能障害学会、 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 日本脳性麻痺の外科研究会、日本小児神経学会、 日本認知症学会、日本心臓リハビリテーション学会 日本骨代謝学会、日本腎臓リハビリテーション学会 日本ニューロリハビリテーション学会、日本ボツリヌス治療学会 日本運動療法学会	10	参加の証明となるもの (学会名、開催日、開催場所が 明記されていること) ・ネームプレートのコピー ・領収証のコピー ・参加証(章)のコピー *抄録集コピーは不可 *骨代謝学会は2012年度以降 から、腎臓リハ学会は2015年度 以降から	
(2) 教育研 修講演 等の 単位	c) 「関連研修会」(自己申請分は以下の研修会) ※本医学会が主催または後援する研修会 義肢装具等適合判定医師研修会 (事務局コード230)	20	修了証書のコピー	
	e) 「関連学会」で行われる教育研修講演 ※学会誌及び学会ホームページ「研修会」に掲載されているもの (事務局コード250)	10	参加の証明となるもの (研修会名、開催日、開催場所 が明記されていること)	
	f) 地方で定期的に行われる研究会や学術集会での教育研修講演 (事務局コード260) ※学会誌及び学会ホームページ「研修会」に掲載されているもの	10		
	g) 地方会が認める講演 ※各地方会のホームページに掲載されているもの (事務局コード270)	5	・参加証明書のコピー ・領収証のコピー	
(3) 論文の 単位	a) 会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」(事務局コード310)、「医学」, 英文誌: Progress in Rehabilitation Medicine(以下「PRM誌」) 掲載の原著、短報、症例報告、総説等の 筆頭著者 (事務局コード320)	30	掲載の証明となるもの (題名、著者名、掲載号、頁が 明記されていること)	
	同 筆頭著者以外の著者 (事務局コード320)	10	・「リハ医学」「PRM誌」掲載 頁のコピー ・別刷	
	b) 「関連雑誌」の 筆頭著者 (2017年度は以下の9誌) ※「リハ医学」以外で認定された以下の雑誌 (事務局コード340) American Journal of Physical Medicine and Rehabilitation Archives of Physical Medicine and Rehabilitation Journal of Rehabilitation Medicine Disability and Rehabilitation Clinical Rehabilitation International Journal of Rehabilitation Research European Journal of Physical and Rehabilitation Medicine Physical Medicine & Rehabilitation Journal of Rehabilitation Research and Development	20	掲載の証明となるもの (題名、著者名、掲載号、頁が 明記されていること) ・「関連雑誌」表紙、目次、掲 載頁のコピー ・別刷 ・Clinical Rehabilitationは 洋雑誌	
同 筆頭著者以外の著者 (事務局コード350)	10			
(4) 学会発表 等の 単位	a) 「年次学術集会」・「国際学会」での シンポジウム、パネルディスカッション、特別講演等の 筆頭演者 (事務局コード410)	15	発表等の証明となるもの (演者名、演題名、学会名、開 催日が明記されていること)	
	b) 「年次学術集会」・「国際学会」での一般発表 (口演、ポスター)の 筆頭演者 (事務局コード420)	10		
	c) 「地方会」・「専門医会」での 発表筆頭演者 (事務局コード431~439)	10	・抄録集の表紙および抄録掲載 頁のコピー	
	(事務局コード441~450) d) 「年次学術集会」・「関連研修会」・「地方会」・「専門医会」・ 「関連学会」での 教育講演 、「関連研修会」での 実習担当者	15	発表等の証明となるもの (演者名、演題名、学会名、開 催日が明記されていること) ・「地方会」「専門医会」「関 連学会」のプログラムのコピー ・「関連研修会」のプログラ ムのコピー ・「関連学会」での教育講演と は、リハ学会で認められた講演 の演者とする	